

令和7年度 第1回学校運営協議会

校名 大阪府立野崎高等学校
校長名 小畑 龍業

開催日時 令和7年7月1日(火) 15時～17時
開催場所 野崎高校 校長室

出席者《委員》

中嶋 正人 大阪産業大学 入試センター次長
山崎 政範 大阪教育大学 附属学校統括機構特別参与 学長補佐
木村 千代美 大東市立四条中学校長
尾崎 明幸 大東市文化財保護審議会委員
梅本 正直 大東市人権教育指導員 社会教育主事
野村 洋二郎 本校PTA 会長

出席者《事務局》

小畑校長 西田教頭 高須事務長 西本首席 大倉教諭
議事録作成：竹村教諭

《協議資料》

- ①大阪府立野崎高等学校運営協議会 実施要項
- ②大阪府立野崎高等学校運営協議会 名簿
- ③令和6年度学校経営計画及び学校評価
- ④令和7年度学校経営計画及び学校評価
- ⑤学校特色枠（スクールミッション・スクールポリシー）
- ⑥野崎高校3年間のキャリア教育
- ⑦令和6年度 生徒支援部総括
野崎高校 生徒の困り感に寄り添う 校内セーフティネット
- ⑧人権だより（VOL1～3）
人権教育推進委員会指導方針
- ⑨令和7年度 教務管理部（総務） 重点目標
野崎高等学校 参加予定進学説明会等予定一覧

《次第》

- 1 開会（資料①）
 - ・会長挨拶
 - ・校長挨拶
 - ・出席者紹介（資料②）
- 2 令和6年度学校経営計画及び学校評価について（資料③）
- 3 令和7年度学校経営計画について（資料④）
- 4 学校特色枠（スクールミッション・スクールポリシー）について（資料⑤）
- 5 進路指導の状況について（資料⑥）
- 6 生徒支援の状況について（資料⑦）
- 7 人権教育の状況について（資料⑧）
- 8 広報活動の状況について（資料⑨）
- 9 その他
- 10 協議
- 11 閉会

議事録

- 1 開会（資料①、②）
 - 各委員からの自己紹介
 - 会長挨拶
 - 校長挨拶
 - ・生徒一人ひとりを大切にすることが目標
 - ・定員割れが続いているため、定員確保に努めたい
- 2 令和6年度学校経営計画及び学校評価について（資料③）
【事務局より】
 - 学校運営協議会からの意見をまとめたものを反映している

3 令和7年度学校経営計画について（資料④）

【事務局より】

- 授業見学週間、研究授業・研究授業協議を通して教員の授業力を向上させる
- 外部人材（SC、SSW、CC）、居場所カフェの積極的活用をはかりたい
- 教育相談委員会を定期的に実施、個別に支援が必要な生徒がいる場合は
就学対策委員会も実施
- 学校行事に生徒が主体的に取り組めるような活動を増やす
- ボランティア活動や、地域交流を積極的に行いたい
- ブログやインスタグラム等を使った広報活動
- 健全な労働環境の維持に努める

【委員より】

- どのように生徒に合った授業展開をしているのか。
 - ↳ 1、2年生は基礎に戻って学習している。それぞれの進路に合った授業展開をしている。
- 地域の人材を使ったクラブ活動等ができればより盛んになるのではないかな。

4 学校特色枠（スクールミッション・スクールポリシー）について（資料⑤）

【事務局より】

- 令和10年度から入試制度が大きく変更
 - ・学校特色枠が設定される。
 - ・野崎高校の学校特色枠のアドミッションポリシーは将来に夢を持ち、日々の学校生活（授業・行事・部活動）に積極的に取り組もうとする生徒、具体的には自らの意思で規則正しく、高校生活を前向きに送ろうとする生徒。
 - ・野崎高校の学校特色枠の選抜資料は調査書と集団面接で判定。

【委員より】

- 学校特色枠のアドミッションポリシーや選抜方法は学校で協議したものを
8月初めに府教委に提出するのか
 - ↳ 提出後府教委と学校で協議を重ね、決定後学校ごとに一覧で出すのではないかな
- 試験の点数が満たされなくても学校特色枠に当てはまれば合格の可能性があるので、
入学生たちは学習についていけるか不安になるおそれがある。
- クラブ活動での成果を学校特色枠に入れ込むのはどうか

5 進路指導の状況について（資料⑥）

【事務局より】

- 1年生から進路学習を行い、生徒が自身の進路選択を意識できるようにしている
- 昨年度は進路が未定・その他の生徒が多くなった。要因としては、縁故就職など学校斡旋就職以外が多かったためである。

6 生徒支援の状況について（資料⑦）

【事務局より】

- 昨年度は授業遅刻指導や問題行動が多かった。保護者と連携をとって未然の防止に努めていきたい。
- 登校遅刻が多い生徒にも、声掛けを行うなどして生徒が学校生活を前向きに送れるようにしている。
- 生徒会役員への立候補者数が多かったため、全員を当選させた。
- 野球部とサッカー部の部員数が増えた。

【委員より】

- 転・退学者数が多いが、どのような経緯になっているのか。
↳課題とはなっているが、49期は転・退学者数がこれまでより減ったため、この状態を維持していきたい。

【事務局より】

- 昨年度40回ほどSCによる面談が行われた。同じ生徒が複数回面談している。
- 今年度から野崎高校がSSWの拠点校となっている。
- 昨年度はのべ535人がカフェココアルを利用していた。

7 人権教育の状況について（資料⑧）

【事務局より】

- 人権講演会を定期的に行っている。
- 地域連携を充実させたい。

【委員より】

- 地域行事の運営者の高齢化が進んでいるため、生徒会などが一緒になって運営もできたら生徒たちもよい経験ができるのではないかな。

8 広報活動の状況について（資料⑨）

【事務局より】

- 地域や中学校のニーズに応えられる学校をめざす。
- InstagramなどのSNSを多用し、野崎高校の日々の学校生活を広めていきたい。

9 その他

特になし。

10 協議

【委員より】

文部科学省が示す「生きる力」が教育では一つのテーマになっている。「生きる力」を学校経営計画やスクールミッション・スクールポリシーに入れてみてはどうか。

11 閉会

- 教頭より今年度の協議会の予定
- 校長挨拶